

地方創生関係交付金評価検証【資料1】

事業名	「木都能代」拠点整備事業
交付金種別	地方創生拠点整備交付金（補助率1／2）
事業目的	能代市技術開発センター及び能代市木の学校の作業場の改修、先進機械の導入と水洗トイレの整備等を行い、木都能代の拠点としての機能向上と利便性を確保することで利用者の拡大を図り、技術開発と市場開拓を後押しするとともに、地場産業を牽引する人材の育成により木材産業の振興に寄与する。
事業年度	平成30年度
事業費	83,972千円（うち拠点整備交付金41,986千円）

重要業績評価指標（KPI）

	①事業開始前 (H28実績)	②R3目標値 (増加分)	③R3実績	上段：③－② 下段：目標達成率
①能代市技術開発センター及び能代市木の学校使用料等収入	2,076千円	2,186千円 (110千円)	2,780千円	594千円 127.2%
②能代市技術開発センター利用件数	1,744件	1,782件 (38件)	2,315件	533件 129.9%
③能代市木の学校利用件数	5,189件	5,419件 (230件)	7,083件	1,664件 130.7%

.....

1 市の担当部署等による自己評価

①現状のまま 取組を継続	②一部改善して 取組を継続	③大幅に改善して 取組を継続	④その他 ( )
-----------------	------------------	-------------------	-------------

【コメント】

令和3年度の利用者実績は、作業場の改修等を行って以降、様々な改善を行い、能代市技術開発センター及び能代市木の学校ともに目標を上回った。また、利用者増加の影響を受け、使用料等収入においても、目標を上回った。

令和2年度に開設したホームページに加え、令和3年度にはツイッター・インスタグラムなどのSNSを活用し、施設案内、設備更新で導入したワイドベルトサンダーや自動一面カンナ盤といった機械を使った木工体験・教室の広報活動等を積極的に行った結果、利用者の増加に繋がったものと考えられる。

今後とも両施設において、利用者の目線に立った柔軟な対応を検討しながら、引き続き市民への広報活動を行っていく。

【参考】

①使用料等の内訳

(単位：千円)

年度	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
技術開発センター	750	451	591	398	371	554	899
木の学校	1,566	1,625	1,759	1,450	1,599	1,880	1,881
計	2,316	2,076	2,350	1,848	1,970	2,434	2,780

②技術開発センター利用状況

(単位：件)

年度	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
機械使用	1,743	1,661	1,624	1,079	1,449	1,828	1,863
技術相談・指導	112	69	112	138	166	265	302
加工・試験等	36	14	37	31	22	47	150
計	1,891	1,744	1,773	1,245	1,637	2,140	2,315

③木の学校利用状況

(単位：件)

年度	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
機械使用	3,737	3,565	3,955	3,118	3,955	4,357	4,877
木工体験者等	1,515	1,540	1,593	1,409	1,650	1,640	1,975
視察・見学	202	84	86	253	250	278	231
計	5,454	5,189	5,634	4,780	5,855	6,275	7,083

2 総合戦略会議委員としての評価

①現状のまま 取組を継続	②一部改善して 取組を継続	③大幅に改善して取 組を継続	④その他 ( )
-----------------	------------------	-------------------	-------------

コメント